

# みなみまち協だより

第6号 平成28年7月30日  
発行所：みなみまちづくり協議会  
高山市岡本町1-18 南小学校内  
Tel&Fax 34-0114



南地区の風景

## 高山陣屋と陣屋前広場

高山陣屋界限（川原町・西町・八軒町・本町）は、金森時代（三代重頼の代）に開けた所で、古い町の三町と中橋でつながっています。その後、西へと町が広がっていった南地区にあって、この界限は旧市街地といえる所です。現在、高山陣屋は、前の

広場で毎朝開かれる朝市とともに、高山観光の重要スポットとなっています。また、この広場から赤い中橋を望む景観は、城山のこんもりした緑をバックに、高山でも第一級の眺めとなっています。

一方では、「喧しくてかなわん」などどこかを否定する人もいる▼少し前の話になるが、某地で保育所建設の話が持ち上がったとき、建設反対を強く主張した住民たちがいた。多くが高齢者だった。子どもの声はうるさいというのが主な反対理由だった。このことは全国的なニュースとなり、賛否両論となったが、子どもの声くらいは、という意見が多かったようだ▼子どもというものは、いつも心を和ませてくれる存在だ。家においても外で遊んでいる子どもの声が聞こえるとホッとす。また、高齢者の多い過疎の町などを歩いていて、ひよつこり子どもに出くわしたときも同じ思いだ▼子どもが減り、老人が増えた少子高齢化社会で、数少なくなった子どもの声が小さくなり、高齢者が喧しくなった。▼子どもが増えて賑やかとなり、高齢者も元気で長生きできる社会が、理想とする社会であろうと思う。

桜  
句  
におい

春、田圃に水が張られると、逸早く蛙たちが集まってきて合唱を始める。それは命の躍動する春の到来を告げてくれる歌で、その声



## みなみまちづくり協議会 発足二年目を迎えて



会長 黒田 久美子

四月、今年も春の到来も早く桜も祭りのころには満開になりました。

まち協の総会も多くの意見の出席中、無事承認されいよいよ二年目のスタートとなりました。

昨年一年は試行錯誤の中、手さぐり状態でどのようにしたら地域が活性化し元気な街になるのか話し合いに話し合いを重ねました。あつというまに時間は過ぎボランティアの領

### 本年度はこんな事業を進めます

#### 地域づくり部

地域づくり部では『地域の課題に取り組み、みんなで話し合い、助け合える地域を目指す』ことを活動方針として各事業に取り組みたいと思っています。今年度は「みなみ地区全体の防災を考える会」を行いたいと思っています。町内単位の自主防災組織にまちづくり協議会が支援し、より強固な組織で安全・安心して暮らせる地域にしたいと考えています。又、冬期の除雪支援活動にも力をいれたいと思っています。

域を越えるほどの話し合いをしてきました。回りからの声は今までと変わらないうるか同じ人ばかりだとかよく耳にしますが、確実に少しずつ変化はしつつあると確信しています。

町内に加入されている方もいない方もすべての方が南地区の仲間であり、協議会の一員なのでどう周知していくかも重要な問題の一つでもあります。今日あちらこちらで大きな災害も発生していますが、このような時こそ町内、地域こそつての協力が必要です。町内加入のない方もぜひ加入していただき、一致団結で活性化しましょう。

います。命のバトン登録者の方を中心に雪よけで困っている町内に対して、各町内会長さんや他の部長さんたちと連携し、支援したいと思っています。その他にも健全な町内会が運営できるよう、町内行事や町内活動に対しても補助事業として昨年引き続き行います。各町内会長さんと話し合い、課題解決に取り組んでいきたいと思っています。

(部長 三尾尚之)

#### 広報部

みなみまちづくり協議会が設立されて二年目、昨年度は地域づ

くり部で広報紙を発行していましたが、広報活動を専門に進めるため、本年度、新たに広報部が発足しました。

広報は、組織の構成員が組織の目標と現状をよく理解し、積極的に協力できる情報を提供することにあるとされ、重要な部門です。

本年度は、広報紙を「みなみまち協だより」と改題し、七・十一・三月の三回、八ページのものを定期発行します。読んでもらえ、親しみのもてる広報紙を心がけます。

一方、ホームページも開設して、常時、南地区のさまざまな情報が得られるようにしています。また、当協議会はいくつもの団体で構成されているため、行事も多岐に亘っており、その周知を図るため年間行事カレンダーを作成して、各ご家庭へお配りしました。(部長 新谷信之)

#### 社会教育部

講座を通して、地区の皆さんの健康と豊かな暮らしを応援したいと願って今年度も様々な事業を計画しました。

正式に長寿会長の皆さんも社会教育部のメンバーとして協力していただけることになりましたので、高齢者の方向けのグラウンドゴルフ大会やあんしんあんぜん講座等、きめ

細かく行う予定です。

また、昨年度好評だったワイン講座は夏と冬の二回開催します。スポーツ講座としてはウォーキング、ヨガ、ボウリングを計画しております。毎回ファンの多い歴史散歩講座も今年は空町や高山別院周辺等を計画してしますのでご期待ください。

物作りは他の予定と調整しながら二ヶ月に一回くらいは実施していきます。老若男女、幅広い層の皆さんが楽しんでいただける講座を考えていますので、是非ともご参加をお願いします。(部長 水野千恵子)

#### 青少年部

地域社会の皆さんから思いやりを以って見守られて成長する子どもには、優しい心と強く生きていく力が備わって欲しいと思っています。

昨年度より新事業として自進教室を開催しています。自進教室では自分で進めていく勉強を応援することに主眼を置き、子どもの学力向上を目指しています。

また、子どもたちが楽しみをもって参加できる事業を行います。子どもたちがまちづくり協議会や地域社会により親しみを持つようになり、地域で開催される他の事業にも積極的に参加できるようにすることを目指しています。



南小や南小育友会をはじめとする青少年育成に関わる地域団体と連携し事業を行います。

地域社会の一員として子どもたちの成長を促す伴走者の役割を担っていきたいです。(部長 田中弘泰)

**福祉部**

事業活動は、三つに分類されます。第一は、見守り推進員による見守り活動です。南地区の「命のバトン」所持者の方をはじめ、高齢者及び高齢者世帯、独居老人、障害者、子育て世帯の皆さんを、年間を通じて定期的に見守ると同時に、何かあった場合への対応を行います。第二には、敬老会を開催いたします。永年社会の発展に貢献されてこられた、高齢者のご労苦をねぎらい、益々のご健康とご活躍を願い長寿をお祝いするものです。第三としては、住民皆様の善意をいただき、一円玉募金、ふれあい文化祭のリサイクルバザー収益金という形で、社会福祉協議会等へ寄付させて頂くもの、又古布回収のように、老人介護施設へ寄附するもの、ペットボトルキャップのように、ワクチンを提供する支援として寄付するものがあります。福祉活動は、弱者を守る皆様の善意により成り立っています。(部長 飯山碩志)

— 平成28年度「みなみまちづくり協議会」役員・理事のみなさん —

**役員**

役職名	氏名	町内会
会長	黒田久美子	上岡本町
副会長	三枝祥一	八軒町1
副会長	石上寛	天満町4
会計	塚田さち子	西町
地域づくり部長	三尾尚之	緑ヶ丘町2
広報部長	新谷信之	中岡本町
社会教育部長	水野千恵子	西町
青少年部長	田中弘泰	上岡本町
福祉部長	飯山碩志	川原町
事務局長	宮岡宏	松原町
監事	森真砂美	松原町
監事	河渡正暁	昭栄町
まちづくり担当職員	松井文彦	高山市役所
まちづくり担当職員	柴田昌彦	高山市役所
支援職員	大川由里子	高山市役所

**理事**

団体・役職	氏名	町内会
町内会長会	畑中信一	緑ヶ丘町1
町内会長会	谷信幸	西町
町内会長会	和泉弘司	中岡本町
町内会長会	木戸協辰一	花里町6
町内会長会	新井賢司	八軒町1
スポーツ推進委員	畑中良宏	上岡本町
青少年育成推進員	浅野瑞絵	昭和町1
民生児童委員	吉野忠男	上岡本町
地域見守り推進員	河合博昭	昭和町1
長寿会長会	牛丸英夫	上岡本町
南小学校校長	大森久司	新宮町
南小学校育友会長	山下繁和	上岡本町

**部員** (括弧内の方々に構成)

地域づくり部 42名(部長・町内会長・自主防災委員)

広報部 10名(部長・まちづくり委員)

社会教育部 41名(部長・まちづくり委員・スポーツ推進員・長寿会長)

青少年部 33名(部長・子ども会育成委員・青少年育成推進員・南小学校長・同育友会長・南地区主任児童員)

福祉部 35名(部長・まちづくり委員・地域見守り推進員・上岡本町女性部代表)





## 行事アルバム

みなみまちづくり協議会では住民のみなさんの参加によりさまざまな活動を行なっています



**みなみまちづくり協議会定期総会**  
・4月25日(日)・高山市民文化会館講堂



**花壇づくり**  
・4月10日(日)・緑ヶ丘2丁目町内会



**春の町内一斉清掃**  
・4月10日(日)・中岡本町町内会



**地域で語ろう会**  
・5月22日(日)・昭和町1丁目町内会



**南小育友会資源リサイクル活動**  
・5月14日(土)・崇教真光駐車場(集荷)





情報提供(町内要望)個所の現地立合い

・5月19日(木) ・上岡本町町内会

・5月18日(水) ・名田町4丁目町内会



苔川一斉清掃

・6月5日(日) ・上岡本町町内会 岡本橋下流

クラブ紹介

南地区には、芸能・芸術・スポーツ・地域起こし等、さまざまな分野で活発に活動されている会がいくつもあります。そうした会を順次紹介します。

陣屋句会

陣屋句会は、昭和四十四年南校下婦人会の婦人学級の一つとして小鷹ふさ女を師とし発足しました。人数も多くなり、一部に分かれ月一回の句会で指導を受け、二十周年には会で句集を出しました。平成十年に先生も亡くなられ、今はわずか六名です。

小鷹先生は俳句はもとより、俳句に必要な作法を教えて下さいました。

新年には初句会

年に一、二回折々の吟行

九月には月見の句会、芒すすもみに団子と枝豆を飾ります。

十一月には芭蕉忌句会、芭蕉翁の軸を掛け、枯芒一本に蕎麦饅頭と柿を供えます。

また会員本人はもとより、家族の冠婚葬祭には、祝句、悼句を短冊にしたため、当番が式場で朗詠します。

先生の教えを今でも守りつづけております。

(陣屋句会)



# 南地区ウオッチング

## 一、地区の概要

文・写真 新谷信之

南地区の区域は広い。東は宮川畔（川原町・本町一）から、西は原山市民公園東側（松原町）まで。南は松倉山（上岡本町）から、北は雁川原通り（中岡本町）に亘っている。水平距離にして東西三・二km、南北二・四kmある。この中に二十の町内会がある。その組織も規模も内容も様々で、上



落ちついたたたずまいの西町の通り

岡本町のような規模の大きい町内会もあれば、駅前地区に見られるような小規模な町内会もある。地区の中央をJR高山本線が通る。この鉄道をはさんで東側を駅東、西側を駅西と呼ぶ。駅東地区には、宮川に近く落ち着いたたたずまいを見せる旧市街地区や、昭和九年の高山線開通で開けた駅前地区がある。駅西地区は戦後発展し、商業地として活況のある国道四十一号バイパス周辺地区、反対に上岡本町西部・緑ヶ丘町・松原町のような閑静な住宅地もある。そして南には緑豊かな松倉山が、北面に裾を広げてどっしりとした山容を見せている。

南地区は一般に住宅が多いが、通り沿いには商店、事業所が並ぶ。歓楽街に当るものはないが、風俗営業の店は全域に点在する。工場はほとんどない。昔は高山駅周辺に製材所や木工所が林立していたが今はなく、上岡本町に木工のK社があるのみである。農地は減少している。上岡本町地区は、かつては穀倉地帯であったが、今は宅地化、商業地化し、農地はモザイク状となって縮小している。農家は点在するが、兼業農家である。文化財はいろいろある。飛驒の里には、飛驒の民家群、生活用具のコレクションがあり、他に高山陣屋、一本杉白山神社、川原町に青龍台、本町一に琴高台がある。特筆すべきは、発掘によって確認された飛驒国分尼寺金堂跡（辻ヶ森三社境内）である。また、上岡本町の山手に高山市の伝統工芸として歴史をもつ渋草、小糸の両窯があるのも特筆すべきことである。



交通量の多い国道41号バイパス（上岡本町）

以下、南地区を歴史的、地理的に見て、旧市街地区、駅前地区、役西地区、松倉山・中山丘陵地区の四つに分け、それぞれをウオッチングすることとする。（以下、次号へ）



# 解説 まちづくり協議会

「まちづくり協議会って今一つよく分からない」。いまだそんな声を耳にします。

そこで今回、市の南地区まちづくり担当職員のみなさんに三つの問いを投げかけ、改めて分かりやすく解説していただくこととしました。設問に答えていただく形で三回に亘り連載します。

\*

## みなみまちづくり協議会とは そもそもなに？



まちづくり担当職員  
松井文彦

あなたの家の近くで火事が起こったら、あなたはどうしますか？初期消火を試みるでしょうか、それとも火事の家飛び込んで誰かを救おうとするでしょうか。実際にできるかどうかは別として、そういった気持ちになることは間違いないと思います。ただ、一人でできることは限られていますし、正しい知識がないと自分も危険です。

防火訓練は災害等の時に正しい行動が出来るように行うものです。そして、地域の方々と一緒に学ぶことで、更なる災害を防ぐことができる可能性が広がります。地域での活動が大切なのはこのことから解ります。

災害だけではありません。高齢化などで一人世帯が増える中、お年寄りを支援する仕組みを考える必要があるでしょうし、子どもを健やかに育てるための環境づくりも大切です。では、私たちに何かできることはないのでしょうか。

そうです、みなみまちづくり協議会はそれを一緒に考えるための団体です。

それぞれが地域のためにできることを考え、持っている知識や技術を提供し、できることから行動する。そして、市はそれに対して事務所の提供や費用の負担、情報提供を行います。

災害に強い、お年寄りに優しい、子育てがしやすいまちづくりを一緒に考えましょう。そして、その活力となるものが、絆や信頼を深める「ふれあい文化祭」や「敬老会」などの行事です。積極的に参加して、この地域を元気にしましょう。気軽

にあいさつができる仲間を増やしましょう。

私たち市役所担当職員も同じこの地域の住民です。地域が良くなるための努力は惜しみません。解らないことなどありましたら、気軽に声をかけてください。

一緒に高山一、いや日本一住みよいまちを目指しましょう。



## みなみまちづくり協議会 今後の行事

### 8月

- 7日(月) 全市一斉清掃  
苔川・宮川一斉清掃
- 南地区の防災を考える会月間  
地域で語ろう会月間
- 30日(火) 「防災を考える会」市民文化会館3F(講堂)

### 9月

- 7日(水) 松倉中学校体育祭
- 11日(日) 新宮小学校運動会
- 17日(土) 南小学校大運動会
- 19日(月) 南地区敬老会  
ヨガ教室

### 10月

- 2日(日) 苔川・宮川一斉清掃
- 8日(土)・22日(土) ふるさと歴史散歩
- 9日(日) 南・新宮・花里三地区合同グラウンドゴルフ大会
- 16日(日) みなみふれあい文化祭
- 30日(日) 南地区秋の一斉清掃

### 11月

- ウォーキング教室

### □ 南地区敬老会

- ・日時：9月19日(月) 午後12時30分
- ・会場：高山グリーンホテル(天山の間)  
※町内会未加入の方で敬老会出席を希望される方は、みなみまち協事務室(☎34-0114)までご連絡ください。

### □ みなみふれあい文化祭

- ・日時：10月16日(日)  
午前11時30分～午後3時
- ・会場：南小学校

—— みなみまちづくり協議会ホームページのご案内 ——

URLは <http://minamachikyosakura.ne.jp/> です。



# 南地区街角散歩

文・写真 新谷信之

## 苔川(上岡本)のホタル

昭和十三年、詩人、野口雨情が福田夕咲を訪ねて来高した。その時詠んだ「高山歌謡」に「だれを待つやら田圃の中で灘の蛍が灯をともすがある。当時の灘田圃(旧上岡本・下岡本を中心とした田圃地帯)の中を流れる苔川の流域一帯は、ホタルが多数発生し、町から人々が蛍狩りにやってくる所でもあった。

ホタルはゲンジボタルとそれより少し小型のヘイケボタルがよく知られているが、実は我が国には五十四種ものホタルが棲息している。ただし、光らないホタルがほとんどで、



ホタルのいた上岡本橋下流  
—上岡本町3丁目—

光るのは前記二種以外、ヒメボタルとクメジマホタルがいるのみである。

また、ホタルはほとんどが一生を陸で過ごし、ゲンジボタルやヘイケボタルのように幼虫期を水中で過ごすものは世界的に珍しいとされる。ゲンジボタルは、水の美しい流れのある川に、ヘイケボタルは流れのない田圃等に発生し、棲み分けている。

さて、灘田圃は今は市街地化し、苔川もその形を変えてホタルを見ることができなくなってきました。今、苔川流域でホタル(ゲンジボタル)を見ようとするとするなら、古寺橋辺りから上流、とくに越後橋付近へ、また、ヘイケボタルは、山手の田圃の方へ行かないと見ることができない。そんな中、数年前の六月末、思いがけないことに、上岡本橋の下手左岸の水際の叢で、二匹のゲンジボタルが光を点滅させているのを見た。ホタルの幼虫は、水中から陸に上がって土中で蛹になるので、川縁に土がないと棲みつくことができない。苔川は改修されてしまっているが、流れの具合で岸寄りに土砂が堆積して草地のできている所もあって、このような所にホタルが戻ってきて棲みついてくれることを密かに願っている。

## 文芸南俳句

### 陣屋句会

新緑の森を背に童等の声

池村とみ子

始発車に乗る靴履けば雉鳴けり

高木みつ江

青朴葉厨に酔の香と飛驒ことば

中家富枝

一番星いつもの位置に夜の新樹

森本喜恵

だれかれの過ぎし面影桐の花

小鳥輝枝

さしがねは父一代よ麦の秋

中嶋文子

### 葉月会

料亭の見世仄暗し軒菖蒲

安藤 桂

笹の子や山裾に湧く単純泉

上田真穂子

塩飴を買ひ置く慣ひ梅雨に入る

栗田美由紀

琵琶の音や庫裏に一輪敦盛草

小林高子

日の本のみつばつじや群れて咲く

紺谷健次郎

青き海松原越しに冷奴

下屋孝雄

薔薇の朝橙色の一重かな

瀬川幸子

初蝶や見付けて欲しい隠れんぼ

玉田信哉

梅雨に入る赤き重たきランドセル

保木信子

昨日より今日真白なる牡丹かな

益田美貴子

初夏に入る今年は何を着ようかな

松井嶋子

一滴の水輪広がり梅雨に入る

米澤智子

## 編集後記

「みなみまち協だより」第六号(改題第一号)題字は八軒町二内木能里子さん)をお届けします。

本年度、地域づくり部から独立して新たに広報部が発足しました。部員十名のこぢんまりした素人ばかりの集団ですが、読んでいただけ、親しみもてる広報紙をと、一同がんばっています。

広報は、団体においても、あるいは企業においても重要視されている部門です。今後ともご理解、ご協力をお願いします。

(新谷)